

第1回インキュベーションラボ終了審査会議事録

日時：2021年4月12日（月） 9：30～12：15

参加者：

座長（外部有識者1名）

審査員（外部有識者8名：ビジネス・監査・デジタル技術・ベンチャー・技術から各1名、サービスロボット有識者2名、データ流通有識者1名）

経産省担当者

事務局（DADC）

審査に関与する事前評価者（外部有識者3名：法制度1名、サービスロボット有識者1名、データ流通有識者2名）

1. 対象テーマ：サービスロボットのより広範な活用に向けた安全・安心を確保するためのガバナンスモデル及び関連産業を含むビジネスエコシステムを実現するアーキテクチャの検討

プレゼンター：DADC

■審議結果

本テーマは協調領域のさらなる具体化等が重要であり、DADCにおいて活動を本格化することが妥当。

■審査員コメント概要

本テーマは、人口減少による労働力不足等の社会課題の面からも必要性が高く、産業の成長も見込める。先行するドローンの活動とも連携しながらロボットや物流まで抽象度を上げ、両方組み合わせたユースケース、共通する技術、標準化などを入れたアーキテクチャを描くことが重要。今後、協調領域のさらなる具体化として本格的なアーキテクチャ設計に向けた活動を継続して行ってほしい。

2. 対象テーマ：「第三者データ取引機能」を通じて信頼性を担保したうえで、多種多様な分野間のデータの流通・活用を可能とするアーキテクチャの検討

プレゼンター：DADC

■審議結果

本テーマは具体事例の創出等が重要であり、事業者を中心とした活動を促進しつつ、DADC

は必要に応じてその活動に参加することが妥当。

■審査員コメント概要

データ流通におけるトラストというテーマが社会的に非常に重要であることは審査員一同一致した認識。ただし、ステークホルダーをデータ連携事業者だけでなくデータ提供者や利用者など広く設定した上で、具体的なユースケースを通じたニーズ・価値提供の検討がまずは必要。加えて、第三者仲介型として安全性をどう確保するのかについて、技術やソフトウェアの観点からの議論も必要。今後、事業者を中心として具体的なユースケースをもとに上記の検討を進めていき、DADCが必要に応じて活動に参加して行ってほしい。

以上